

■事業の目的・目標

- 【目的】北海道由仁町内で**早生樹（クリーンラーチ、オノエヤナギ）**を用いた“エネルギーの森”を創生すること。
【目標】①亜寒帯（北部）における早生樹の**大規模植林技術**の開発
②早生樹の**バイオマス燃料**としての活用検討、及び、燃料化の**コスト削減手法**の開発
③**デジタル計測**による既存森林の実態把握、及び、施業計画の簡易化

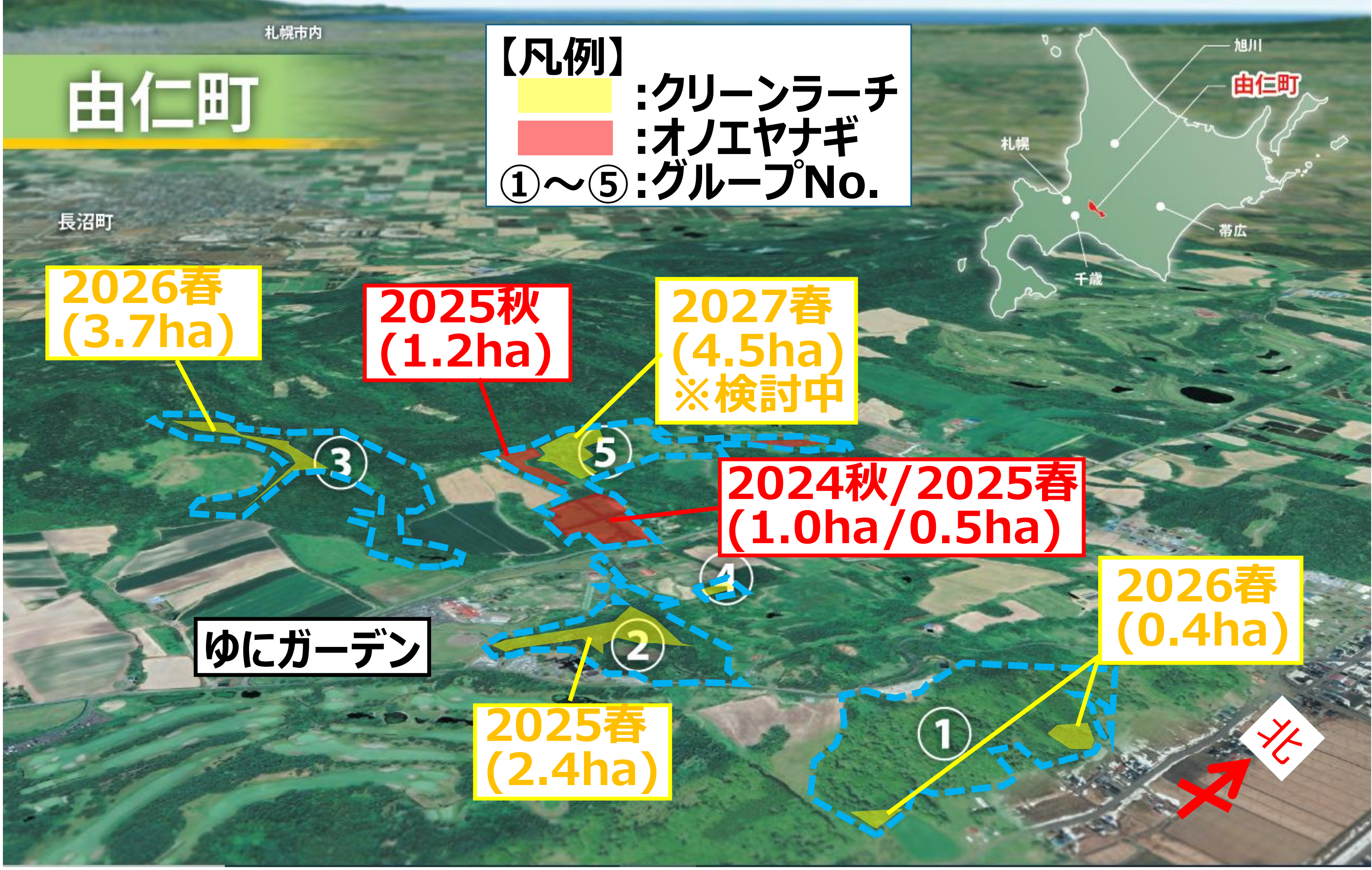
◎JFEの森

ほっかいどう企業の森林づくり制度に参加
由仁町町有林に**クリーンラーチ（600本）**
を植林 2023/10～

2026/5 撮影



◎実証事業エリア全景



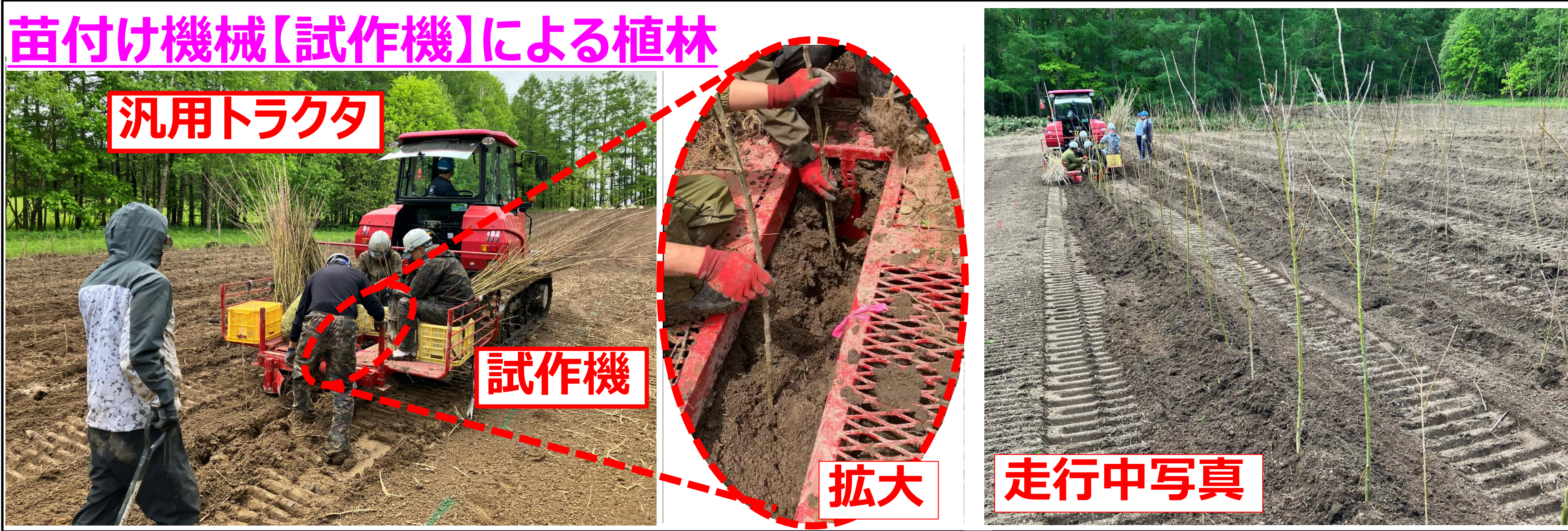
■2025年の主な成果

(1)クリーンラーチの植林[グループ③]

- ・既存木の伐採とクリーンラーチの植林(3.7ha)
- ・クリーンラーチの苗：計画本数（7,400本）

(2)オノエヤナギの機械植え付け[グループ⑤]

- ・苗付け効率化実証・・・苗付け機械の製作・導入
- 2025年5月(0.3ha) 累計1.3ha



(最大樹高2.7m '26/5撮影)

■課題と今後の取組

・バイオマス燃料化検討

- 合理的な**育林・伐採手法**(27年度に伐採予定)
- コスト**評価(植林～育林～収穫～チップ化)
- 燃料適正**検証(成分分析)

■実用化・事業化の見通し

- ・クリーンラーチの植林体制整備ならびにオノエヤナギの大規模植林について目途
- ・仮にFIT価格(40円/kWh[間伐材等])よりバイオマス燃料の目標価格を試算
⇒発電事業を継続するための燃料価格は**約8,000円/t** ※従来のチップ単価：約13,000円/t
- ・「“エネルギーの森”木材」＝「間伐材等由来の木質バイオマス」に分類されること